

大切なのは早期発見！
健診（検診）を受診して病気を予防しましょう！！

申込み・お問い合わせ
保健課
保健センター
〒433-5606
ハピネス

【集団健診（検診）のご案内】

■日時・場所

月 日	場 所	受付時間
11月2日(土)	総合福祉センター	午前6時～午前10時
3日(日)	「ハピネス」	*待ち時間を短くするため、30分ごとにご案内します。

*受付時間にご希望のある人は、申し込み時にお知らせください。
*日程の都合がつかない場合は、個別健診（検診）もあります。

項目	対象者及び検査内容	一般	下川町国保被保険者	後期高齢者医療
ハピネス健診	18歳以上39歳以下の町民 内容：問診、身体測定、血液・尿・心電図・眼底検査、診察	500円		
国保特定健診	40歳以上74歳以下の下川町国民健康保険に加入されている方 内容：問診、身体測定、血液・尿・心電図・眼底検査、診察	ご加入の医療保険にお問い合わせください。		500円
後期高齢者健診	後期高齢者医療保険に加入されている方 内容：問診、身体測定、血液・尿・心電図・眼底検査、診察	500円		
胃がん検診	40歳以上の町民 内容：問診、胃バリウム検査	1,600円	800円	500円
肺がん検診	40歳以上の町民 内容：問診、胸部レントゲン撮影	500円	300円	200円
	内容：痰を採取して検査 (50歳以上で喫煙年数や本数の多い人、40歳以上で血痰の出る人、検査を希望する人)	900円	400円	300円
CT肺がん検診	40歳以上の町民 内容：問診、2.5ミリ間隔で全肺野を撮影	2,500円	1,200円	800円
	④肺がん検診を受けられた人は、CT肺がん検診は受けられません	300円	100円	100円
大腸がん検診	40歳以上の町民 内容：問診、検便検査（2日分）	800円	400円	300円
内臓脂肪CT検診	40歳以上の町民 内容：～その高さでCT写真を1枚撮影	900円	400円	300円
エキノコックス症検診	小学3年生以上の町民 (ただし、平成27年度以降に受診している人は除く) 内容：血液検査	無料		

※生活保護を受けている人は無料です。
※50歳以上の男性は、「前立腺がん検診(PSA血液検査)」も2,100円(全額自己負担)で受けられますので、希望される人はお申込みください。

・今年度40歳になる人は、「胃がん検診」「肺がん検診」「大腸がん検診」が無料です。
・今年度41歳、46歳、51歳、56歳、61歳になる人は、「大腸がん検診」が無料です。

生活習慣病は普段の食事、運動、喫煙、飲酒等の生活習慣により発症・進行する病気の総称であり、高血圧、糖尿病、脂質異常症などがあります。生活習慣病は自分では気付くことが難しい病気です。「体調が良いから健康」と思っている人も、体の中では異常が進行しているかもしれません。病気の予防や早期発見のために健診（検診）を受けることが大切です。

内臓肥満に加えて高血圧、糖尿病、脂質異常症のうち2つ以上が組み合わさると、動脈硬化性疾患を招きやすい病態をメタボリックシンドロームと言います。下川町ではメタボリックシンドロームの該当者が多く、虚血性

心疾患、脳血管疾患、糖尿病性腎症等のリスクが高い特徴があります。さらに喫煙率が高く様々ながんを引き起こす可能性が高いと考えられます。自分では気付けない体の異常を発見できるのが健診（検診）です。毎年健診（検診）を受け、数値がどの程度変化しているのか結果を比較すること、病気の予防、早期発見、早期治療に繋がります。今年度まだ健診（検診）を受けていない人は、お忘れなくお申込みください。これまで健診（検診）を受けたことのない人、がん検診無料対象の人は、この機会に受けてみませんか？



■CT肺がん検診と肺がん検診との違い

CT肺がん検診と肺がん検診の両方は受けられません。検診の違いをご確認の上、お申込みください。

◆CT肺がん検診のメリット

- ・従来の肺がん検診では見えにくい心臓・胸骨・肋骨などの陰に隠れているがんや2cm以下の小さながんなども発見できるため、より早期にがんを発見でき、治療により完治する可能性が高まる。
- ・肺がん以外の呼吸器や循環器の病気を確実に診断できる。
- ・乳腺や肝臓、副腎などの病気が偶然発見される場合がある。

◆CT肺がん検診のデメリット

- ・がんでないのに精密検査や経過観察が必要とされ、負担を負う可能性がある。
- ・生命に危険のない非常に発育の遅いがんが発見され、必要以上の検査や治療を受ける可能性がないわけではない。
- ・放射線被ばく線量は、胃がん検診とほぼ同じで、現時点では安全な範囲とされているが、胸部X線肺がん検診の約7～8倍である。

■65歳以上の人は、肺がん検診を受けましょう

若い頃結核が流行していた世代では、結核に既に感染している人が多く、加齢により免疫力が低下することで結核を発症するリスクが高くなります。そのため、現代の結核患者の多くが高齢者と言われています。早期に発見し早期に治療を始めることは自身の健康を守るだけでなく、大切な家族や周りの人への感染拡大を防ぐためにも重要です。

65歳以上の人で胸のレントゲンを病院等で撮らない場合は、肺がん検診をお申込みください。